

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

〈ラ・アーク再処理工場での運転員の訓練〉

1. はじめに

当社再処理工場は、2008年以降、本格的な運転を実施していないことから、しゅん工を見据え、長期間停止していた設備を立ち上げ、安全・安定操業を続けていくために、運転員の技術力の維持・向上が不可欠だと考えています。その一環として、今月よりフランス、オラノ社のラ・アーク再処理工場で運転員の訓練を開始しました。

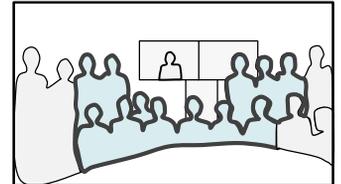
2. ラ・アーク再処理工場における運転訓練

これまで新型コロナウイルスの影響で派遣を見合わせてきましたが、国内外の感染状況を踏まえ、11月22日から、運転員12名を渡仏させ、訓練を行っています。訓練期間は1回あたり約1ヶ月、2022年度上期のしゅん工までに4回、約50名派遣する予定です。

訓練では、操作や監視項目が多く、設備の把握が重要となる起動や停止操作も含めて経験できるように、ラ・アーク再処理工場の運転状況を勘案して、時期を選定しました。また、フランスの運転員とともに運転を経験することで、運転ノウハウも習得できると考えています。

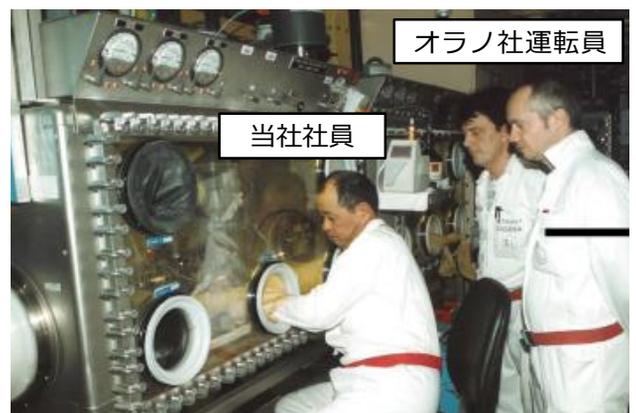


12名の運転員を送り出した時の様子



□が運転員

当社は、約20年前にラ・アーク再処理工場で訓練を行っています。この時の訓練の成果や課題を踏まえて、今回の訓練対象者や訓練のタイミング、期間、訓練内容を計画しました。



ラ・アーク再処理工場で運転訓練をする様子（2001年～2004年当時）

再処理工場のしゅん工、その後の安全・安定操業に向けて、地域の皆さまにご安心いただけるよう、引き続き、運転員の技術力の維持・向上に努めてまいります。